

# 鎌倉市公共施設再編計画 NEWS No.10

平成27年3月発行

## ● 第12回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会を開催しました

平成27年1月27日（火）に第12回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を開催しました。

今回で最後の開催となる策定委員会では、主に以下の内容について議論が行われました。



第12回策定委員会の様子

### 1. 鎌倉市公共施設再編計画（案）について

今回は、これまでの策定委員会での審議や、意見公募手続きを経てとりまとめられた「鎌倉市公共施設再編計画（案）」について議論が行われました。

#### ■ 鎌倉市公共施設再編計画（案）の構成

1 計画の目的と位置づけ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 背景と目的</li><li>• 公共施設再編計画の考え方、鎌倉市総合計画や個別計画との関係</li><li>• 計画の対象施設、計画の期間</li></ul>
2 公共施設に係る現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>• 地域特性（位置、都市構造、地勢、人口、産業構造、観光、交通、財政等）</li><li>• 市有公共施設の状況（施設の配置、建築時期、耐震化状況、施設分類別の概要・利用状況・コスト、エネルギー消費量、将来の更新コスト）</li><li>• 公共施設に係る課題</li></ul>
3 公共施設の再編方針	<ul style="list-style-type: none"><li>• 取組方針（鎌倉市公共施設再編計画基本方針の内容を一部構成・表記等を変更）</li><li>• 公共施設の更新等に係るコストの削減目標等を設定（今後40年間の施設の更新コストの試算に対し、50%削減）</li></ul>
4 公共施設の再編方法	<ul style="list-style-type: none"><li>• 再編の基本手法</li><li>• 公共サービスのあり方や施設配置の見直しの考え方</li><li>• 施設分類別（11分類）の再編内容（再編方針、再編内容、再編によるコストの削減効果、参考事例など）</li></ul>
5 計画の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>• 計画の進行管理（公共施設再編計画ロードマップと進行管理の方法）</li><li>• 推進体制（公共施設マネジメント推進体制、具体的な事業の実施にあたっての関係者との協議、民間事業者等との協働）</li><li>• 適切な保全の実施</li></ul>
関連資料	<ul style="list-style-type: none"><li>• 施設データ</li><li>• コストの算定条件</li><li>• 維持保全マニュアル（案）</li><li>• 公共施設再編計画の策定過程（策定体制、策定経緯、アンケート調査・市民ワークショップ・シンポジウムの概要等）</li></ul>

## 2. 先行事業の取組状況について

3つの先行事業（鎌倉芸術館、市営住宅、レイ・ウェル鎌倉）の取組状況について報告しました。

- 鎌倉芸術館

大規模修繕と維持管理運營業務について、平成26年12月に、PFI事業の事業者選定に係るアドバイザー業務の契約を行い、事業化を進めています。

- 市営住宅

内閣府の支援を受けながら、事業手法等について検討を進めています。

- レイ・ウェル鎌倉

売却に向けて手続きを進めています。

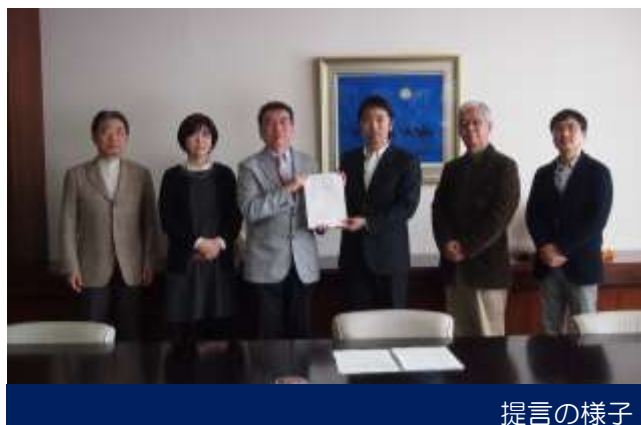
### ● 鎌倉市公共施設再編計画の提言を受けました

第12回策定委員会の後、根本委員長から公共施設再編計画の提言をいただきました。

また、根本委員長をはじめ策定委員会委員の方々と市長とで、今後、公共施設再編の具体化に向けて、留意すべきことなどについて、意見交換を行いました。

【主なご意見】

- 公共施設の再編は全国的に避けて通れない問題であり、計画をしっかりと具体化することで、他自治体の模範となるように先陣を切っていただくことを期待する。
- 今後、更に取り組を進めていくためには、市民等との合意形成や調整など慎重な対応が必要であり、その際には粘り強く対応していくことが大事である。
- 市長には強いリーダーシップを持って取り組んでほしいと思っている。計画どおりに進まないことはたくさんあるが、小さいところから1つでも成功事例を作ること注力してもらいたい。
- 公共施設再編における市民参画を継続して実施してもらいたい。市役所内部においては、これまでとは違う検討方法やプロセスなど、新しい発想で取り組んでいくことが重要である。
- 公共施設だけでなくインフラを含めるともっと大変で深刻な問題となる。インフラは市民の生命に関わる重要な施設であるため、インフラの計画が策定された際には、ハコモノとインフラを融合して市民にしっかり説明していく必要がある。



提言の様子

### ● 今後のスケジュール

策定委員会からの提言を受けて、平成27年3月中に「鎌倉市公共施設再編計画」を策定するため、作業を進めています。

計画策定の際には、改めてお知らせいたします。

平成27年度からは、公共施設再編計画の具体化に向けた事業の実施、検討を進めます。